タックルの作法

沖イカを安心して楽しむために

フォースマスター3000

○「沖イカ釣りでは電動リールが最も重要な道具といえます。新しいフォースマスター3000は3000XPのパワーを引き継ぐとともに、強化ギアシステムにより耐久性が向上し、より長く使えてイカ釣りには安心。そして探見丸スクールで海中の情報を予めて見ることができるのも、スルメなど中層を狙うときに大きなメリットになります（松田竜彰）」

●SPEC　千下比＝3.9　最大ドラグ力＝20kg　自重＝715g　糸巻量PE＝4号-450m、5号-350m、6号-300m、8号-200m　最大巻上長＝70cm/ハンドル1回転　ハンドル長＝75mm　ベアリング数＝8個（ローラー1）　実用巻上時入力＝1kg　最大巻上速度（分）＝130cm（1kg負荷、100m 2kg負荷）

▲このときの探見丸子機の画面

【探見丸スクリーン】探見丸の海底をリールハンドル一体カラー表示。このときは海底付近にベイト反応、底質の二ホをはなれた位置の反応が現れていた

すべての探見丸搭載機で使用可能。
＊アキュフィッシュ機能はアキュフィッシュ対応の探見丸搭載機のみ使用可能

▲スプールインモーター搭載のため巻糸がはさ間のスプール径がカタログ表記でも巻き上げ性能は安定している

【強化ギアシステム】減速ギアをベアリング支持にするなどギアシステムを大幅に強化

【ムテキモーター4】高回転にも強いトルクを持続、強力なパワーを発揮　実釣ではレスポンスのよさも大きなアドバンテージとなる

リイカが乗ってくる。そして時折、3杯、4杯と多点掛けになる。

「直結でも、仕掛けが沈んでいくときにイカが触ってくるのが分かります。そんなときは多点掛けのチャンスです」

フォースマスター3000の探見丸スクリーンにはベイトの反応が映し出されている。松田さんは竿先とリールから視線をそらすことなく、巻き込みの triple に集中する。

そして道糸と同時に乗りをとらえると低速巻き5を開始。ズン、ズン、ズンと手巻きが刺していくのもお構いなしに力強く巻き上げていく。

「多点掛けできる楽しさは一日にそうそうありません。いつ訪れるとも分からない時合を逃さないために、やはり仕掛けを投入し続けることが大切です」

最先端のタックルを生かすためにも沖イカ釣りではまず、仕掛けを「確実にさばくこと」。

それはベテランでも初心者でも共通する、沖イカ釣りの作法である。

食の作法

潮風が作り出す滋味
～スルメイカの船上干し～

①胴と頭を胴部から強く引き抜く
②内臓とクチバシ、目を除去
③竹串を刺して干す
④松田さんはグリーンバーナ紙で包んで持ち帰る
⑤軽く炙り好みの焼き料でいただく
★取り扱いと内臓類は釣り場で捨てないこと

「船釣りの作法」動画公開中。
SHIMANO TV または
YouTube SHIMANO TV
公式チャンネル にてご視聴になれます。

直結仕掛けの作法

ゆっくりでもいいから確実であり続けること。

▶今でこそ竹すだれノベをまとめて取り込んでしまう松田さんも、20年以上前は小田原でイカ釣りを始めていた
▼基本は投入前に後悔にしまうこと

▲仕掛けを自由と同時に入れることが多い。投入に備えて
▼直結12本ノベ仕掛け。自信を持って届ける投げていく

この日、松田さんが使用しているのは12センチヅノの直結仕掛け。サバが来ると多くの釣果が期待できる今や直結は必須といえる「直結仕掛けは難しいと思われるかもしれませんが、ゆっくりでもいいので仕掛けを下ろし続けて、とにかくイカを、確実に船に入れてしまえばいいんです。そうするうちに慣れてきて、自分のスタイルができます」

自流沖を狙った場合は、スルメ、ヤリがやや、ヤリイカにはヅノの仕掛けが多用されるが、サバが多いことがあり松田さんは直結仕掛けで釣り通す。

春先はヤリイカの型が大きいので、直結を複数するのにもいい時期だが上ツノも12センチのまま、スルメやヤリイカの型が大きくなってくると、ツノも15センチ前後のものを使用するなど、季節によってツノのサイズを変えるのもポイントだ。

▼潮ノ瀬沖ではスルメやヤリ、船団はカラー選も好調

▲自由沖ではヤリイカ型が多数出る

イカスペシャルH155 / RIGHT

○「浮い場所、遠い潮の中では視認的なアタリは出ず、シャクリの重さの変化でイカの乗りを察に取ることになります。そのとき、ハッキリ言って竿の長さが大きく出ます。乗りがかりやすいのは、硬く、先調子で、軽く軟性な竿。イカスペシャルはその条件を完全に満たしています（松田竜彰）」

●SPEC　全長1.55m、2本継ぎ、仕舞寸法84.8cm、自重230g、先径2.1mm、オモリ負荷100～200号、カーボン含有率96.6%

○UDグラスチューブラー穂先はシャクリ時にブレず、スムーズで速く戻るため、より多くの「乗り」を感じ取ることができる

○Presented by SHIMANO　【取材協力】西湘勝山港・